

平成29年度第2回府中市健康地域づくり審議会報告書（概要）

- 1 日時 平成30年3月20日（火）18：58～20：42
- 2 場所 府中市役所4階第1委員会室
- 3 出欠 委員10名中8名出席
- 4 内容 各分科会から、政策指標の現状、平成29年度施策の成果・評価、及び平成30年度施策について報告を受け、意見交換及び施策に対する助言等を行った。

また、審議会委員の任期満了（平成30年6月）を目途に、これまでの成果等について総括すべく、報告書を作成することが審議会会長から提起された。

今後、各分科会事務局においては、審議会での意見・助言を踏まえた施策推進に努めるとともに、審議会事務局と連携して実施施策の成果を取りまとめていくこととなる。

【分科会名】次世代創造分科会	
【政策指標の状況】	
① 平成28年 出生数216人（〔目標〕平成31年度 257人） ② 平成27年 有配偶者率46.7%（〔目標〕平成32年 52.1%） ③ 平成28年 合計特殊出生率1.28（〔目標〕平成32年 1.65）	
【分科会開催状況(下期)】	《報告》 ・ 新しいPOMの進捗状況 《議事》 ・ 保育事業等の設置認可について ・ 平成29年度施策の評価 ・ 平成30年度実施事業について 《平成29年度施策の評価》 《平成30年度に実施する施策》 資料1（次世代創造分科会からの報告書）のとおり
【各委員からの意見等】	
<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て訪問サポート事業については、問題を抱える方、積極的な支援が必要な家庭等の1割ぐらいにしか介入できてないと報告を受けた。なぜ介入できないのか、どういうことが難しいのかということを整理して、次の時期のネウボラ構想に活かす必要がある。 ● ネウボラ構想は、これは非常にこれから大事なことだと思う。女性こども課だけでなく、健康医療課など他の課とも密に連携を取って進めていただきたい。 ● ワンストップの相談窓口設置にあたっては、相談員の育成と確保が課題である。必要な資格取得に対する経済的支援なども検討すべきではないか。 	

【分科会名】 熟年元気づくり分科会	
【政策指標の状況】 平成28年度元気高齢者の割合 78.4%（〔目標〕平成32年度 79.9%） （〔同〕平成36年度 81.8%）	
【分科会開催状況(下期)】 2月1日（木）	《議事》 <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度施策の報告 平成30年度実施事業について 《平成29年度施策の評価》 《平成30年度に実施する施策》 資料3（熟年元気づくり分科会からの報告書）のとおり
[各委員からの意見等]	
<ul style="list-style-type: none"> ● 月ごとのスケジュールをまとめた行動計画を独自に作成した。平成30年度事業の進捗管理に活用していきたい。 ● ボランティアに対するインセンティブがあれば、ボランティアに参加する高齢者も増えるのではないかと。 ● ボランティア活動を地域通貨として活用できるポイントに換算し、コミュニティ・キッチンで利用できるような取り組みをしている先進地域もある。こうした取り組みは、行政と連携してまち全体で取り組む必要がある。 ● 高齢者に対するコミュニティ・キッチンの周知・理解が進んでいないとの報告があったが、子ども食堂と連携して事業を実施するなど、形にとらわれず柔軟な対応を検討しても良いのではないかと。 	

【分科会名】 長寿サポート分科会	
【政策指標の状況】 平成28年人生の最終段階を終の棲家で迎える高齢者の割合 18.17% （〔目標〕広島県平均（平成28年22.33%）を上回る）	
【分科会開催状況(下期)】 12月13日（水） 2月7日（水）	《議事》 <ul style="list-style-type: none"> 第7期高齢者保健福祉総合計画・介護保険事業計画（素案）について 《議事》 <ul style="list-style-type: none"> 第7期高齢者保健福祉総合計画・介護保険事業計画（素案）について 長寿サポート分科会の活動について 府中市地域包括支援センターの運営について

- ・ 認知症初期集中支援チームの運営について

《平成29年度施策の評価》

《平成30年度に実施する施策》

資料4（長寿サポート分科会からの報告書）のとおり

[各委員からの意見等]

- はじめは自宅での看取りといったことを中心としたディスカッションだったが、そのうちだんだんと生活支援、それから住まいの確保といった、いろいろな議論が出されるようになった。それから、まだ十分ではないが、集いの場や元気もりもり体操など、高齢者のアクティビティに関する取り組みも進められている。いい方向へ向かっているのではないか。
- 介護予防、ライフスタイル、それから認知症の発症がどのように組み合わさっているかなど、行政には有益な統計が蓄積されている。そうした統計を、もう少し時間をかけて分析してもらいたいと思う。